

ゲノム編集技術を用いた農林水産物を考えるシンポジウム  
～農林水産分野におけるゲノム編集技術の新たな可能性～  
開催次第

日時：令和2年12月25日（金） 13:00～15:45

場所：オンライン

プログラム

1 開会挨拶

2 講演

(1) 冒頭講演：ゲノム編集技術の社会実装と農林水産業の未来像

(農林水産省農林水産技術会議事務局長 菱沼 義久)

(2) 植物育種の歴史とゲノム編集技術への期待

(一般社団法人日本育種学会 会長 大澤 良)

(3) ゲノム編集技術を活用した農林水産物の利用に係る手続等

①生物多様性への影響の観点からの手続について

(農林水産省消費・安全局農産安全管理課長 及川 仁)

②飼料安全の観点からの手続について

(農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐 古川 明)

③ゲノム編集技術を利用して得られた食品等の食品衛生上の取扱いについて

厚生労働省医薬・生活衛生局食品基準審査課新開発食品保健対策室長

今川 正紀

④ゲノム編集技術応用食品の表示の考え方について

(消費者庁食品表示企画課課長補佐 金子 雅隆)

(4) GABA 高蓄積トマトの開発と今後の展望

(サナテックシード株式会社取締役最高技術責任者 江面 浩)

(5) ゲノム編集技術を用いた農林水産物への期待とコミュニケーションの課題

(科学ジャーナリスト 松永 和紀)

(6) あらかじめいただいた質問への回答

(7) 閉会